

市議会だより

# 15年 串本町



照島小学校入学式の様子

No. **75**  
2020.5.7

## 3月議会定例会

10人の議員が市政を問う... P2~7 予算審査会報告.....P8~11  
常任委員会報告.....P12~13 特別委員会の設置..... P14  
定例会の表決結果.....P15 議会の動き、編集後記... P16

# 市政を問う!

## 議員10人が一般質問

顔写真	議員名 (ページ)	質問事項
	濱田 尚 (P3)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 地域おこし協力隊の現状と課題について</li><li>2. 串木野鉱山の歴史と発信について</li></ol>
	東 育代 (P3)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 医療費(診療費・薬剤費)の抑制について</li><li>2. 市職員の育児休業について</li><li>3. 公共施設のネーミングライツ(命名権)について</li></ol>
	中村 敏彦 (P4)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 災害に強いまちづくりについて</li><li>2. 子育て支援制度について</li><li>3. 子どもを事故から守る交通安全対策について</li></ol>
	原口 政敏 (P4)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. かがしま国体の宿泊施設について</li><li>2. 新型コロナウイルスについて</li><li>3. 小中学生のスマホ使用について</li><li>4. 小学生の自転車走行について</li></ol>
	吉留 良三 (P5)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 農業振興について</li><li>2. 地域振興について</li><li>3. 地域公共交通体制の確保について</li></ol>
	江口 祥子 (P5)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 防災・減災に向けた取組について</li><li>2. ヘルプカードの今後について</li></ol>
	中里 純人 (P6)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 多様化社会について</li><li>2. 食のまちづくりについて</li><li>3. 新型コロナウイルス対策について</li></ol>
	松崎 幹夫 (P6)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 人口減少対策について</li><li>2. 消防団の活動について</li><li>3. 農業の取組について</li></ol>
	西別府 治 (P7)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 既存ストック串木野新港を活用した着地型観光開発について</li><li>2. コンパクトシティプラスネットワーク構想の立地適正化計画について</li></ol>
	田中 和矢 (P7)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 洪水ハザードマップ作成について</li><li>2. 公共施設の管理運営について</li><li>3. 補助金の削減について</li><li>4. 一般心配ごと相談について</li></ol>



濱田 尚 議員

**地域おこし協力隊の活動  
観光振興など一定の成果**

**問** 協力隊員の活動の効果や成果並びに課題は。

**答** 移住促進や観光振興などの課題解決に取り組むミッション型の協力隊として、6名の協力隊員を任命してきた。外部の視点と行動力を活かし、女性の目線で若い女性グループの立ち上げや、特産品のPR、地域情報誌の発行や、市民の健康増進などに取り組み、一定の成果が

あった。また、任期が終了した隊員4名のうち、2名が定住している。

**問** 全国では約6割の隊員が定着、定住するというが、定住や起業などの相談や支援体制は十分か。

**答** 企業支援セミナーの開催や協力隊サポートデスクの活用、また商工会議所の協力により起業に係る事業計画や資金調達の相談など、起業支援に取り組んでいる。

**問** 今後の受け入れ計画や方向性は。

**答** 地元を元気にしたいと活動をする人の周辺で、外部の視点と行動力を武器に動く協力隊の役割は、非常に重要である。住民と協力隊、行政の三者が情報を共有しながら、ともに行動し、成長していける状況が望ましい姿だと思っている。地域の課題解決に向けて、検討をしていく。

**金山の歴史の発信**

**歴史を後世に残す意味で重要**

**問** 日本遺産として認定された「串木野麓」と歴史的につながりの深い串木野金山を、有形・無形の文化財としてパッケージ化し、更なる情報発信や地域活性化のために、資料の収集やその集約に積極的に取り組むべきでは。

**答** 一つでも多くの資料を所蔵しておくことは、展示品の充実や串木野金山の歴史を後世に残す意味でも重要である。今後も機会を捉えて、周辺地区への聞き取りや情報を募り、収集に努め、深く掘り下げ、しっかり検証しながら、本市のまちおこしにも役立てたい。



東 育代 議員

**医療費抑制の取組は  
生活習慣病の見直しを**

**問** 国保加入者の医療費は、国や県の平均よりも高く、他の自治体と比較しても高い傾向にある。要因と課題についてはどのようなか。

**答** 国保加入者の65歳以上の高齢者が占める割合は、平成30年度で53.3%と他市と比較すると高く、入院、外来の受診率ともに高いことが要因。生活習慣病の抑制が課題であり、特定健診の受診勧奨と

生活習慣病の見直しについて啓発していく。

**問** 医療費と国保税の仕組みについて、加入者が理解しやすい取組が必要だと思う。地域ぐるみの健康なまちづくりを推進する役割を担っている健康地域づくり推進員の役割も重要と思うがどうか。

**答** 医療費と国保税の関係を紙ベースだけでなく、研修会、出前講座、チラシ配布などいろんな機会を活用して啓発していく。健康地域づくり推進員132名は、地域のイベントや健康づくり活動に参加している。



**市職員の育児休業取得は**

**女性100% 男性5%**

**問** 男性の育児参加は少子化などの社会課題を解決する契機となる。潜在的に必要性を感じている職員はいると思われるが、本市の現状はどうか。育休取得が進まない要因と課題はどうか。

**答** 対象職員は18名で1人が11日間取得。育休に対する意識や職場の雰囲気等が要因であり、職場の協力体制が課題である。今後は男性が育児参加しやすい職場環境に努めていく。

**ネーミングライツ(命名権)**

**先行事例を参考に検討**

**問** 財源確保のために、公共施設のネーミングライツ(命名権)の売却に取り組む自治体が増えているが本市はどうか。

**答** 平成26年度に総合体育館のネーミングライツのスポンサー募集をしたが契約に至らなかった。他市の例を参考に進めていきたい。



中村 敏彦 議員

**減災対策と消防力強化  
提案参考に検討したい**

**問** 多発する災害に関して、電柱の老朽化対策や倒木を防ぐ森林管理、避難ルートが寸断された場合を想定し、一時的避難場所として商業施設や事業所の駐車場利用などの「協力協定」の締結、主要道路に避難所（市民文化Cや総合体育館など）の案内標識設置を。また、総務省の消防力指針に対して県内最下位の消防職員数の

定数（充足率）改善と補充、5%の配属を求められている女性消防士採用に向けた消防庁舎の改善を。

**答** 九電との連携強化や関係課職員間でIP電話の携行を開始。主要避難所の案内標識は検討。消防職員については定数以外に嘱託職員等を配置している。

**子育て支援、検証と課題は  
環境整備を重視し事業化**

**問** 「公園整備」が子育て支援策に欠かせないことを、数回の一般質問を通じて提案してきた。「長崎鼻公園の整備方針」が提案されたことから、「未来の宝子育て支援金制度」を含む子育て政策と出生率向上への効果検証と、提案された



エコパーク水俣の小児用ボルダリング

「公園整備方針」に関して当事者（子育て世代）の期待に応える施設整備を求める。

**答** 平成18年に経済的支援として始めた子育て支援制度は、当初の出生数220人前後になったこと、特殊出生率を1.40から1.55に引き上げるなどの効果があった。しかし、国の支援制度が充実してきたことに伴い、子育て環境の整備が求められるようになったので、経済的支援の見直しを検討した。公園整備に当たっては担当職員とともに視察した水俣や薩摩川内などの公園を参考にしたい。

**交差点等の交通安全対策  
関係団体・機関と協議**

**問** 本市の交差点の安全対策は遅れているのではないかと。また、今後通行量が増えると予測される浜ヶ城踏切の整備も喫緊課題では。

**答** 関係団体・機関と協議しながら安全対策を進める。



原口 政敏 議員

**かごしま国体の宿泊施設  
県全体で調整**

**問** 本市に来られる競技関係者の宿泊については、そのすべてを受け入れることは困難と思うが、どのように対処する考えなのか。

**答** 本市にある宿泊施設では足りない状況です。県全体で合同配宿本部を設置、国体・障害者スポーツ大会の全ての競技にかかる宿泊の調整を行う。市民一丸となってお迎えしたい。

**問** 市内の宿泊できる施設は。

**答** 多い時で312名の選手が来られる。ホテルアクシアくしきの、白浜温泉が宿泊可能。そのほか、旧吹上浜荘跡に建設される新施設については受入れの協議中。ただし、民泊での受入れは難しい。

**新型コロナウイルスの対応  
対策本部を立ち上げ**

**問** 対策本部ではどのようなことが話し合われたのか。

**答** 国内での感染が拡大していることから、相談窓口等の情報を周知、感染予防の啓発をし、医療機関や国・県との連携を図っていく。

**問** マスクや消毒液は十分に確保してあるのか。

**答** マスク1万60枚、消毒液612リットルを備蓄。

**問** 共働きやひとり親の世帯など、特に小学校低学年生の親は非常に困っている。学童保育だけでは対応は難しいので、何とか学校で対応する方法はないのか。

**答** 小さい子どもを家に一人で留守番をさせておく訳にはいかない。現在対策を協議中だが、小学校3年生までは（4年生以上の兄弟がいない世帯に限り）、家庭での安全確保ができない場合、保護者と学校が相談して通学可とした。

**小学生のスマホ使用  
家庭内でルールづくり**

**問** 子供たちに害を及ぼす前に、対策が必要と考えるが。

**答** PTAや学校便りでネットゲーム依存やスマホの使い方について、広報・啓発を行なっている。使用時間の制限など、家庭内でルール決めなど指導していきたい。

**小学生の自転車走行  
繰り返し指導していく**

**問** 市内でも小学生の交通事故が起きている。交通ルールを正しく指導すべきではないか。

**答** 自転車事故は死に直結する事故になることから、直接体験的に繰り返し指導していく。保護者に対しても周知や啓発を行う。



吉留 良三 議員

**有機農業推進で付加価値増を  
農業振興のあるべき方向**

**問** 人口減少時代に若い世代が自然等と共生する積極的な価値観を見出し、移住を始めた地域がある。積極的な価値創造の1つとして有機農業など付加価値の高い農業を推進すべきではないか。

**答** 厳しい農業環境の中で、収益性の高い地域営農の仕組みの構築が重要。有機農業を大いに進めることは同感。有機JAS認証

取得助成も活用して欲しい。

**問** 環境保全型農業直接支払制度の活用を促進すべきだが。

**答** 有機農業の取組に対する交付金で、農業者組織の1団体が平成23年度から継続して取り組んでいる。市の堆肥助成制度は過去3カ年平均で15件の利用。両制度は有機農業推進の重要な制度で、周知に努める。

**問** 農林業担当者の技術指導や、集落サポート体制の強化を。

**答** 営農指導員1名、営農相談員1名の2名体制で農家を巡回指導し、県振興局やJA等とも連携して技術指導に努めている。

**問** 耕作放棄地対策は、有機団地等の選定をして整地後活用を図るべきではないか。

**答** 中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度などの共同作業・農機具利用で農地を維持管理する集落営農の組織化も

推進している。農家負担なしで基盤整備できる事業も始まっているので適地があれば今後検討する。

**中山間地周遊ルート  
地域振興に努める**

**問** 観音ヶ池や冠嶽の魅力を活かし、市内観光への導入路として中山間地周遊ルートを設定して、過疎化が進む川上地区や冠岳地区の活性化を。

**答** 9つのコースの6つに観音ヶ池や冠嶽が入っているが情報伝達に努め、地域活性化に努める。

**その他の質問項目**  
○地域公共交通体制の確保について  
(いきいきタクシー再編後は利用者目線で利用促進に努める)



江口 祥子 議員

**災害時に乳児用液体ミルク  
各家庭において確保**

**問** 災害などの際、ライフラインがストップした時に、すぐに飲むことができる乳児用の液体ミルクを備蓄する考えはないか。

**答** 乳児用の液体ミルクを含め、女性や乳幼児、高齢者及び障がいをお持ちの方に欠かせないものについては、各家庭において確保に努めていただきたい。

**問** 本市でも国土強靱化計画の策定を進めているが、その考え方はどのようなか。

**答** 現在、防災・減災に関する取組を念頭に、さまざまな計画等の指針となる「いちき串木野市強靱化地域計画」の策定を進めています。なお、策定後は、総合的かつ計画的に推進していきます。

**問** 聴覚・言語障害のある方や音声による通報に不安のある方が利用可能な「Net119緊急通報システム」の導入について伺う。

**答** 県内の20消防本部中、2か所で導入済である。取扱い業者が4社あり、本市でも互換性やラニングコストなどの経費面等、現在情報収集をしている。

**問** 避難所運営ゲームHUGを用いて、日ごろからの訓練を促してはいかがか。

**答** HUGはゲーム感覚で避難所運営を学べることから、実

施に向けて検討していく。

**ヘルプカードの配布窓口は  
福祉課・市来支所市民課**

**問** ヘルプカードの配布対象者はどのようなか。

**答** 障がいの有無や障害者手帳の有無に関わらず、外見から援助が必要か分からない方で、日常生活や災害において配慮や支援を必要としている方。

**問** ヘルプカードを利用される方、支援をする方への周知等は。

**答** 交流センターへのポスターの掲示や広報等に掲載し、利用している方が配慮や援助を受けやすくなるように環境づくりに努める。



ヘルプカード



中里 純人 議員

### 多様な性

#### 証明書性別記載の省略

**問** 県の人権ハンドブックでは、性的少数者（LGBT）が人口の8%。児童生徒では、クラスに一人はいる計算になる。14%の人は自殺未遂の経験がある。子どもたちを自殺から守るために、いじめや傷つける言動をなくすための取組は。

**答** 児童生徒がいつでも悩みを相談できるように、相談しや

すい環境や信頼関係を築いておく。必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを派遣する。

**LGBTとは、頭文字からとった言葉**

- Lがレスビアンで同性を好きになる女性
- Gがゲイで同性を好きになる男性
- Bはバイセクシャルで異性も同性も好きになることもある人
- Tはトランスジェンダーで体と心の性が一致しない人
- Qはクエスチョニングで自分の性をはっきり決められない人

(LGBTとは)

### 食のまちづくり計画

#### 最終年度に向け推進

**問** ブランドロゴマークを本市の特産品に活用することで、イメージアップや生産者の意識向上にもつながるのではないか。

**答** 市職員のポロシャツや観光パンフレット、名刺等に利用している。ふるさと納税の返礼品に活用するよう協議を進める。



松崎 幹夫 議員

### 地元企業への就職者に祝金を

#### 新たな祝金創設は難しい

**問** 人口減少社会に突入し、これまで様々な取組が行われているが、子育て世代や若者を対象とした更なる対策が必要ではないか。

**答** 新たな総合戦略で取組を発展させていく。少子化に歯止めを掛けるためにも、特に子育て世代となる若い世代に選ばれるまち、住んでみたい、安心して子育て出来るまちづくりに取り組む。

**問** 住んでみたいまちとして、私は提案をしたい。市内の2つの公立高校を卒業して地元企業に就職する人に祝金を出して応援できないか。

**答** 各種団体の運営補助金の見直し等をしていく中で、新たな祝金制度の創設は難しい。

**問** 地元企業説明会の成果・参加は。

**答** 主に高校2年生を対象に平成28年度から実施。本年度は生徒93名、事業所12名の参加。

### OB消防団員の活用は

#### 補償の関係もあり難しい

**問** 消防分団員の減少により、思いうような活動が出来なくなりつつある。現在の団員の定数と実人員、団員募集と勧誘は。

**答** 令和2年2月末で、定数297名に対し実人員248名、欠員49名です。消防団幹部や消防後援会の勧誘のほか、市ホームページや広報紙に掲載している。

### 新型コロナウイルス

#### 対策本部を設置

**問** 学校の臨時休業は市町村によって期間がそれぞれ異なるが、経緯は。

**答** 鹿児島市、日置市など生活圏が似ている県の教育事務所管内で同一歩調とした。

**問** 学校の休みが続くことで、ゲーム障害になる子どもが増えるのではないか。登校日を設けて子どもの様子や親との情報交換などできないか。

**答** 学校では集団をつくらないようにはしている。1週間に1回以上は電話か家庭訪問をして、安否確認と家庭状況の把握に努める。

**問** 49名の欠員があるが、定数の見直しは考えていないのか。

**答** 定数の見直しは考えていないが、消防団員の減少は地域の消防力及び防災力の減退に繋がりがねない大きな問題と認識している。地域の実情も考慮し対処したい。

**問** 団員が減少していることから、OB団員で構成する消防団OB隊の導入はできないか。

**答** 県内に幾つか消防団のOB隊等がある。組織構成や規模、報酬や活動内容などの違いがあることから、他市町の実例を参考に研究していく。

**問** 団員の減少や仕事の関係により、分団によっては昼間の有事の際に団員が集まらず、出動できない場合がある。OB団員を加えて出動することはできないか。

**答** 実際にOB団員が消防車に同乗して出動するとなると、事故時の補償の問題が生じることから、消防車での出動は難しい。

#### その他の質問項目

○農業の取組について



西別府 治 議員

**串木野新港を活用した観光開発は  
市民・観光関連団体と一丸と  
なって資源を磨きあげる**

**問** 串木野新港の機能は。

**答** 現在1万6千トンの大型貨物船が寄港、貨物船より吃水の浅いクルーズ船は入港可能。

**問** 商港の串木野新港は観光客や市民を引き寄せる力を期待できるか。

**答** 平成29年より地域振興の目的でクルーズ船の誘致に取り組んでいる。

**問** クルーズ船寄港による地域活性化の実現は。

**答** 振興協議会が既に立上っており特産品の焼酎・さつま揚げなどを絡めた観光プランや周辺市を含めた観光コースの設定など市内の観光関連団体と一丸となって資源を磨き上げる。

**問** 国際旅客船拠点形成港湾（マリンプォートかごしま）との連携は。

**答** 昨年4月にマリンプォートに寄港した「飛鳥II」よりバス3台160名が金山蔵・さつま揚げ工場を観光し好評であった。新型コロナウイルスの影響もあるが、県観光連盟より本市へ、同様のオプションツアーの協力依頼があり更に魅力ある観光を誘う。

**人口減少と高齢化に対応した  
コンパクトシティ+ネットワーク構想は**

**本市独自の区域設定を含む立地適正化計画を他市に先駆け進行中**

**問** 2040年の人口予想は。

**答** 2万644人と推計。

**問** 急速な人口減少と高齢化でも安心できるまちづくり立地適正化計画とは。

**答** 医療・福祉施設や商業施設と住居がまとまって立地し、JR・バスの公共交通により財政・経済面で持続可能な都市経営ができるようにする計画。

**問** 構想の必須項目である「居住誘導区域」と「都市機能誘導区域」以外にも本市独自の区域設定は考えているか。

**答** 必須の誘導区域に加え、地域固有の魅力を創造する各地区の交流センターを拠点としたネットワークを形成する、独自の区域を計画。



田中 和矢 議員

**洪水ハザードマップ  
重要と認識し作成する**

**問** 洪水発生時に市民が「自分の身は自分で守る」ために、未だ作成されていない洪水想定区域に「洪水ハザードマップ」を速やかに作るべきではないか。避難に役立つ正確で有益な情報として、住民に提供し周知を図るべきではないか。

**答** 今や「災害は想定外」という言葉が通用しない時代。県と連携を図り、地域の海拔等の情報をもとに、作成に向けて取り組む。

**図書館等を市直営に  
直営後も運営方針は継続**

**問** 4月から図書館や文化センター、アクアホールなどの施設が市の直営になるが、休日・利用時間・運営や「ゆめはこぶくん」などのサービスは変わるのか。

**答** 現指定管理者との契約更新が不調で、他の応募も無かったため市直営とした。図書館は生涯学習の拠点でもあり大事な施設である。「ゆめはこぶくん」やその他のサービスも改善・見直しを図りながら、基本的には現行の運営を継続する。



**木原墓地の整備  
優先度を勘案し対処**

**問** 高齢化等により、腰・膝の痛みで墓参りに非常に苦勞されている方も多し。手すり等の設置や階段、通路、路面などの、補修や整備ができないか。

**答** 木原墓地は整備後60年以上経過し、施設が老朽化しているため、平成26年にトイレや駐車場を整備した。市民からの要望に対しては、現地を確認し優先度を勘案して、順次整備していく。

**補助金の削減**

**公益性・必要性を精査し決定**

**問** 各種団体への補助金見直しが行われた。活動の目的や実績を公正に評価し、必要性や有益性を見極めたうえで、財政難ではあるが貴重な税金を効率的かつ公正に実施されたか。

**答** 厳しい財政状況が見込まれる中、「補助金見直し」「事務事業見直し」「公共施設の適正化」を3本の柱として取り組んでいる。公益性と必要性を十分に検証し方針を決定した。

**その他の質問項目**

○一般心配ごと相談について

# 令和2年度当初予算を可決 (前年度比 7.4% 減) 一般会計 160 億 1,000 万円

議長を除く 15 人の委員で構成する「予算審査特別委員会 (松崎幹夫委員長, 竹之内勉副委員長)」を設置。3 月 12 日から 17 日にかけて委員会を開催 (4 日間) し、予算の審査を行いました。

## 【ふるさと納税の寄附金額と主な活用事業】

### ○寄附金額の推移

年 度	寄 附 金 額	伸び率 (前年度比)
平成 27 年度	3 億 6051 万 4368 円	
平成 28 年度	3 億 7168 万 966 円	3.1% 増
平成 29 年度	6 億 7389 万 6976 円	81.3% 増
平成 30 年度	16 億 9831 万 2666 円	252% 増
<b>令和元年度</b>	<b>13 億 6000 万円 (見込)</b>	<b>約 20% 減</b>

※令和元年度の寄附金額は見込額です。

### ○令和2年度の主な活用事業 (ふるさと納税寄附金基金充当事業)

- ・ 予防接種等事業、妊婦健康診査事業 (健康増進)
- ・ 未来の宝子育て支援金 (福祉)
- ・ 高齢者福祉サービス事業 (福祉)
- ・ 子育て支援センター開設準備経費等 (子育て支援)
- ・ 危険廃屋等解体撤去工事補助金 (住環境)
- ・ 住宅リフォーム事業補助金 (地域活性化)
- ・ サワーポメロ PR・消費拡大プロジェクト (産業振興)
- ・ 企業の誘致促進及び育成補助金 (産業振興)
- ・ 小学校ブロック塀改修事業 (教育振興)
- ・ 学校パソコン借上事業 (教育振興)
- ・ 串木野高校及び市来農芸高校支援対策事業補助金 (教育振興)



# 令和2年度予算の主な事業（新規事業）

## 子育て世代包括支援センター

準備・運営経費 1326 万円

妊娠期から子育て期にわたり、保健・医療・福祉・教育等の切れ目ない支援を行うために、子育て支援包括支援センターを串木野健康増進センター内に設置する。



## 子育て支援センター

準備・運営経費 849 万円

乳児・幼児及び保護者の交流の場、育児に関する相談・支援の場として、子育て支援センターを市来保健センター内に設置する。



## ため池ハザードマップ作成

調査委託 300 万円

重点ため池である北条川尻池のハザードマップを作成する。

## いちき串木野市立ハローワーク

運営経費等 191 万円

無料職業紹介所（いちき串木野市立ハローワーク）を KACCHEL（元町）内に設置する。



## 市来漁港の整備

設計・工事費 2480 万円

市来漁港の機能保全のため、沖防波堤改良工事に向けた調査設計及び航路・泊地の堆積土砂の浚渫工事を行う。



## 防火水槽の設置

工事費 800 万円

麓土地区画整理事業区域内の釜牟田地区に新たに防火水槽を設置する。

## 野元地区の住環境整備

設計料 900 万円

野元地区の住環境改善のため、狭隘な道路の改良を行う。

### 危険ブロック塀の改修

改修工事費 750 万円

危険度の高い羽島小学校と荒川小学校の周辺のブロック塀を撤去し、新たな囲いを設置する。



荒川小学校

### 学校パソコンの整備

整備費 7507 万円

情報教育の充実や学習指導法の改善を図るため、市内の小中学校にパソコン(タブレット)を配置する。

### 市役所庁舎の改修

工事費等 3 億 2532 万円

老朽化している串木野庁舎の衛生設備及び高圧受変電設備、市来庁舎の空調設備及び高圧受変電設備の改修を行う。

## 令和2年度予算 その他の主な事業

- ・(新) 移住・就業支援事業補助金…100 万円
- ・共生協働推進事業……………6,107 万円
- ・(新) 国勢調査費……………1,616 万円
- ・長寿祝金支給事業……………655 万円
- ・放課後児童健全育成事業……………3,569 万円  
(5 クラブ・6 支援単位)
- ・保育施設等給付費……………8 億 4,857 万円  
(市内 10 保育施設、定員 735 人)
- ・児童扶養手当給付費……………1 億 5,555 万円
- ・児童手当給付費……………4 億 206 万円
- ・生活保護扶助費……………4 億 8,219 万円
- ・予防接種事業……………6,720 万円
- ・がん検診等事業……………5,073 万円
- ・合併処理浄化槽設置整備補助金  
……………2,836 万円
- ・危険廃屋等解体撤去工事補助金…975 万円
- ・(新) 可燃ごみ収集運搬業務委託経費  
……………2,300 万円
- ・最終処分場管理費……………5,658 万円
- ・市来エネルギーセンター解体事業  
……………5,344 万円
- ・(新) 棚田地域振興緊急対策交付金事業  
……………150 万円
- ・サワーポメロ PR・消費拡大プロジェクト  
……………525 万円
- ・(新) 森林環境譲与税事業……………902 万円
- ・有害鳥獣捕獲事業補助金……………950 万円
- ・鳥獣被害対策実践事業補助金……932 万円
- ・種子島周辺漁業対策事業補助金  
……………6,721 万円
- ・コミュニティ交通運行業務委託…913 万円
- ・ふるさと納税推進事業……………12 億円
- ・(新) 清泉女子大学連携協力事業…116 万円
- ・SNS 魅力発信観光 PR 事業……446 万円
- ・薩摩藩英国留学生記念館管理費…2,567 万円
- ・総合観光案内所管理費……………2,281 万円
- ・道路改良特別事業……………1 億円
- ・道路新設改良事業……………3 億 8,652 万円
- ・麓土地区画整理事業……………2 億 9,134 万円
- ・住宅リフォーム事業補助金……1,000 万円
- ・特別支援教育支援員配置事業…1,943 万円
- ・串木野高等学校支援対策事業……833 万円
- ・市来農芸高等学校支援対策事業…705 万円
- ・(新) 民族文化財調査事業……………202 万円
- ・鹿児島国民体育大会・全国障害者スポーツ  
大会開催経費……………9,490 万円
- ・(新) 学校給食センター調理・配送等業務委託  
……………7,559 万円

# 予算審査における委員からの意見・質疑

意見	<p><b>【子育て支援センターについて】</b></p> <p>湊町地区のまちづくり協議会と共同で施設利用するとの説明を受けたが、お互いに不満が生じないように考慮してほしい。</p>
	<p><b>【無料職業紹介所運営事業（いちき串木野市立ハローワーク）について】</b></p> <p>商工会・商工会議所との連携が重要であることから、先進地等の情報を調査し、どのような形が本市に合っているのかを把握して事業を進めていくべき。</p>
	<p><b>【長崎鼻公園整備基本構想策定について】</b></p> <p>市民の意見を聞きながら、基本構想を策定してもらいたい。</p>
	<p><b>【自主防災組織の活動について】</b></p> <p>組織が弱体化しないような取組により、活動の推進を図ってほしい。</p>
	<p><b>【特別支援教育支援員配置事業について】</b></p> <p>特別な配慮を必要とする児童・生徒が年々増えている。特別支援教育支援員に負担がかかりすぎないように現場を把握して対応すべき。</p>
	<p><b>【ふるさと納税の取組について】</b></p> <p>全国の方々からいちき串木野市の産品を愛していただき、寄附単価が上がる戦略を研究するために、組織として特化した方が良いのではないかと。</p>
質疑	<p><b>問</b> <u>会計年度任用職員制度（※）の導入</u>により増える市の財政負担は、国から補償されるのか。</p> <p><b>答</b> 地方交付税で措置される見込み。</p>
	<p><b>問</b> <u>可燃ごみ収集運搬業務</u>について、民間委託することで収集時間やステーション数、ごみ袋料金など、変更や値上げになるのではないかと。</p> <p><b>答</b> 同日の収集ルートの見直しを行ったことにより、一部収集時間が前後する箇所があるが、ステーションの数とごみ袋の値段は現状維持で考えている。</p>
	<p><b>問</b> 新たに設置される<u>子育て世代包括支援センター</u>の周知方法は。</p> <p><b>答</b> 母子手帳交付時の面接、妊娠中期の全戸訪問、また、新生児の全戸訪問時に周知を図りたい。</p>
	<p><b>問</b> <u>農村地域防災減災事業</u>において作成する重点ため池のハザードマップをどのように活用するのか。</p> <p><b>答</b> 被害の想定される人家等の方々に、ため池の危険性を認識していただき、不測の事態に備える。</p>
	<p><b>問</b> <u>立地適正化計画の策定</u>にあたっては、地域は関与しないのか。</p> <p><b>答</b> まちづくり協議会の代表や商工会議所、青年会議所、市地域女性団体連絡協議会の代表などのメンバーで委員会を組織して、計画をまとめていく。</p>

(※) 会計年度任用職員とは、地方公務員法の規定に基づき、1年度内（4月1日から翌3月31日まで）に任用される非常勤一般職の職員であり、法改正により、令和2年度以降、新たに任用されます。休暇、福利厚生、期末手当等について拡充されると同時に、職務に専念する義務等の服務規律などが適用されます。

# 令和元年度補正予算 ふるさと納税寄附金 4億円追加！ 《予算総額 188億3,291万円》

## 令和元年度一般会計補正予算

### 【歳出】

#### 放課後児童クラブ環境改善事業補助金

……………100万円  
令和2年4月開設予定の生福児童クラブへの備品購入等の準備経費を補助。

#### 意見

公民館を利用するの開所となるので、交通安全面なども十分に配慮して運営してほしい。



生野公民館

プレミアム付商品券事業……………△ 9,681万円  
決算見込みによる減額。

**問** 非課税世帯からの申請率が低いのはどういう理由なのか。

**答** 商品券購入には自己資金が必要となることが原因ではないかと考えている。

地域間幹線系統確保維持費補助金  
……………319万円

羽島・川内線等(4系統)のバス運行に対する補助金。

地方バス市内路線維持費補助金  
……………1,293万円

羽島・土川線等(3系統)のバス運行に対する補助金。

ふるさと納税推進事業……………4億円  
ふるさと納税寄附金の増加に伴う返礼品等の経費等の追加。

麓土地区画整理事業……………1億7,000万円  
事業進捗のための工事費の追加。

公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業……………4,964万円  
GIGAスクール構想の実現に向けた児童生徒1人1台端末の整備に備え、校内LAN環境及び電源キャビネットの整備を行う。

#### 意見

このGIGAスクール構想は、世界に通用する子どもを育てるために必要な事業と認識するが、市の財政負担が増える懸念がある。地方の財政負担を減らすよう、国へ訴えていくべき。

新型コロナウイルス感染症に関する対策事業……………686万円  
①小学校の臨時休業により、平日に午前中から児童クラブを開設するための人件費等の経費。②児童クラブ等への消毒液等の衛生用品を配付。③保育施設等において、感染拡大を防止するための経費。

## 令和元年度特別会計補正予算

### 国民健康保険特別会計

決算見込み及び交付金の金額決定等により2億1,753万8千円の追加。

### 公共下水道事業特別会計

決算見込み及び事業費決定等により2,225万円の減額。

### 介護保険特別会計

決算見込みにより1,333万6千円の減額。

### 後期高齢者医療特別会計

決算見込みにより3万7千円の追加。

## 条例の制定・改正、その他

### 辺地「池ノ原地区」の計画変更

市道寺迫観音ヶ池線の道路整備を円滑に遂行するため、道路・橋梁の事業費を追加する。

### 成年被後見人等に関する条例改正

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための法律改正があり、関係する6つの市条例を改正。

### 国民健康保険税条例の改正

国民健康保険の税率等を改正

- 所得割額 (16.38%⇒17.68%)
- 均等割額 (39,800円⇒45,000円)
- 平等割額 (31,100円⇒38,900円)

※医療分、後期高齢者支援金分、介護納付金分の合計。  
令和2年4月1日施行

**問** 医療費と国民健康保険税の関係を十分に周知し、健康に留意してもらうことが保険税の健全運営につながるのでは。

**答** 具体的に分かりやすく理解してもらえるように、様々な機会でも説明していく。

### 市交流センター条例の改正

中央交流センターに商店街活性化を図るための機能を追加。なお、商店街活性化施設ドリームセンター条例は廃止。

**問** 日曜祝日が休館日となっているが、休館日の定め方は妥当なのか。

**答** 今後検討したい。



中央交流センター

### 学校給食センター条例の改正

新しい学校給食センターが完成

○いちき串木野市西薩町17番地42



新学校給食センター

陳情第4号 市道寺迫観音ヶ池線の道路拡幅と歩道設置に関する陳情

○陳情者 川北まちづくり協議会  
会長 藤田和生氏

**審議結果 ⇒ 趣旨採択**

#### 陳情趣旨及び審査のまとめ

【陳情の趣旨】生活道路である寺迫から陣ヶ迫までの区間を早急に道路拡幅及び歩道を設置すること。崖から落石がある個所については、法面を削るなどの安全対策をすること。

【審査のまとめ】産業教育常任委員会では、「法面の落石の問題など安全対策をすべきところ、できることはやっていくべき」と陳情趣旨に賛同する意見が述べられたほか、「陳情趣旨には賛同するが、早急に道路拡幅と歩道設置は財政的に難しく、市全体では整備箇所の優先度があること」、さらには、「趣旨は十分に理解できるので、地域の方の思いを大事にすべき」との意見が述べられた。

採決の結果、『趣旨採択』すべきものと決しました。なお、本会議においても、全会一致で『趣旨採択』することに決定しました。

## 「議員と語る会」の“中止”について

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年5月開催予定の「議員と語る会」は“中止”することになりました。

合併以降12年連続で開催してきており、誠に残念で申し訳なく思っておりますが、何より市民の皆さまの健康・生命が大事でございますので、今回の市議会の決定をご理解いただきたいと思っております。

なお、新型コロナウイルスの感染が収束に向かい、これまでどおり安定した市民生活がおくれるようになった際には、令和2年度中に「議員と語る会」を開催する場合もございます。

日本及び全世界での新型コロナウイルスの感染が終息し、普段と変わらぬ市民生活が一日も早く戻って来ること、そして、市民の皆さまが健康で感染の被害に遭わぬこと、切に願っております。

### 【予防法（新型コロナウイルス対策）】

- 手洗い、うがい、しっかりと行いましょう。
- マスク着用、人混みを避けるなど、お互いに気を付けましょう。
- 十分な睡眠とバランスの良い食事に心がけましょう。（免疫力を高めます）

## 議会改革推進特別委員会を設置しました

二元代表制の一翼を担う議会の活性化及び議会機能強化を図るため、議会機能の在り方・意義の再確認、審議の活性化、定数及び報酬の検証、本会議及び委員会運営の方法等について、調査・研究を行うものです。

### 【委員】

- |           |            |          |
|-----------|------------|----------|
| ・東 育代 委員長 | ・中村敏彦 副委員長 |          |
| ・吉留良三 委員  | ・松崎幹夫 委員   | ・田中和矢 委員 |
| ・濱田 尚 委員  | ・宇都耕平 委員   | ・福田清宏 委員 |

# 第1回定例会 (3月) の表決結果

## 1. 全会一致で可決された議案等

### (1) 条例

- ・監査委員条例の一部を改正する条例の制定
- ・成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- ・市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ・災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ・国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定
- ・市交流センター条例の一部を改正する条例の制定
- ・未来の宝子育て支援金支給条例の一部を改正する条例の制定
- ・地方卸売市場条例の一部を改正する条例の制定
- ・市営住宅条例及び市定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定
- ・市立学校給食センター条例の一部を改正する条例の制定
- ・水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定

### (2) 補正予算 (令和元年度分)

- ・一般会計 (第5号)
- ・一般会計 (第6号)
- ・国民健康保険特別会計 (第2号)
- ・介護保険特別会計 (第3号)
- ・後期高齢者医療特別会計 (第2号)
- ・公共下水道事業特別会計 (第3号)

### (3) 当初予算 (令和2年度分)

- ・一般会計
- ・国民健康保険特別会計
- ・地方卸売市場事業特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・水道事業会計
- ・下水道事業会計

### (4) その他

- ・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更
- ・市道の認定
- ・市道寺迫観音ヶ池線の道路拡幅と歩道設置に関する陳情 (趣旨採択)
- ・副市長の選任
- ・人権擁護委員候補者の選任 (2件)

## 令和2年第2回いちき串木野市議会定例会日程 (案)

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| ○6月 5日 (金)         | 本会議 (開会日)               |
| ○6月12日 (金)、15日 (月) | 一般質問                    |
|                    | ※質問者多数の場合の予備日 6月16日 (火) |
| ○6月17日 (水)         | 議案質疑                    |
| ○6月18日 (木)、19日 (金) | 常任委員会                   |
| ○6月29日 (月)         | 本会議 (最終日)               |

(注) この日程案は予定です。都合により変更することもあります。

## 議会傍聴にどうぞ

車椅子のまま傍聴できます

次回の定例会は、**6月5日から**の予定です。  
市のホームページからスマートフォンでも生中継がご覧できます。



観音ヶ池市民の森



防災センター  
(令和2年3月完成)

## 議会の動き (令和2年2月~4月)

(2月)

- 3日 議会運営委員会
- 3、4日 鹿児島県市議会事務局職員研修(垂水市)
- 5日 宮崎県延岡市議会行政視察来訪
- 18日 第1回衛生処理組合議会定例会
- 19日 議会運営委員会
- 21日 第1回市議会定例会(開会)
- 25日 総務厚生委員会
- 26日 産業教育委員会

(3月)

- 3、4日 一般質問
- 4日 議会運営委員会
- 6日 議案質疑  
予算審査特別委員会
- 9日 総務厚生委員会
- 10日 産業教育委員会
- 12日 予算審査特別委員会(現地調査)

13日、16日、17日

- 予算審査特別委員会(書類審査)
- 25日 議会運営委員会
- 27日 本会議(最終日)  
第1回議会改革推進特別委員会  
議会広報特別委員会

(4月)

- 13日 議会運営委員会
- 16日 議員研修会  
第2回議会改革推進特別委員会
- 20日 鹿児島県市議会議長会定期総会(日置市)  
(※書面による会議開催)
- 23日 九州市議会議長会定期総会(宮崎市)  
(※書面による会議開催)

### 編集後記

私たち議員の任期も早いもので、4年間のうちの折り返し点を過ぎました。人口減少や少子高齢化により、議員のなり手不足が拡がり、地方政治の危機が言われておりますが、議会広報などの機会を通じて、議会の役割や活動がきちんと市民の皆さまに伝えられるような、読みやすい・分かりやすい紙面づくりに今後とも努めてまいります。

(吉留良三)

### 議会広報特別委員会

委員長	松	崎	幹	夫
副委員長	吉	留	良	三
委員	江	口	祥	子
〃	田	中	和	矢
〃	中	村	敏	彦
〃	宇	都	耕	平